

訃報に見られる歴史的未來について

小川 紋奈

1. はじめに¹

本稿は、フランス語の単純未來形 (*futur simple*) の用法の一つである歴史的未來 (*futur historique*、以下 FH と略する) に関する事例研究として、新聞の訃報記事をコーパスとした用例の調査、分析を行うことを目的とする。

本稿筆者は小川 (2016、2022) などにおいて主に歴史テキストの分析にもとづいて FH に関する理論を構築してきた。新聞における訃報は当該の人物の最近の死亡事実を伝え、その人物の事績を紹介するものであるが、歴史テキストと同様、言及される事象はいずれも基本的には過去時に位置づけられるものであるため、過去時制のみを用いて書くことも理論的には可能である。それに対して、歴史的現在 (*présent historique*、以下 PH と略する) や FH が用いられている場合には、パラグラフやテキスト全体を考慮したうえで意図的にそのアプローチが選択されていると考えられる。直近の死という事実を鑑みると、読み手にとって歴史テキストの人物より身近な人物の死であるため、すでに終わった過去を感じさせる過去時制の使用よりも、同時代に生きた当該人物に対する読者の心理的距離が近い感覚で経歴を追っていくことができると思われる PH、ひいては PH の使用を足がかりとする FH を用いる傾向が多いのではないかと推測される。この観点は文レベルでは考察できないため、パラグラフも含めたテキスト全体を文体論的側面から観察する必要がある。したがって、訃報というジャンルではどのようなスタイルが適用される傾向があるのか、その効果も明らかにしていく。

以下の論述は、次に示すような手順によってなされる。2 節で本稿筆者がこれまでに提案した FH の機能の図式を振り返る。3 節で本稿のコーパスを紹介するとともに、訃報のテキスト的特徴を確認する。4 節でコーパス調査の結果を提示する。5 節で収集された例文の分析を行う。6 節はまとめである。

2. 歴史的未來の機能

本節では、小川 (2016、2022) などでも提案した FH の機能の図式を振り返っておきたい。

まず、一般的に過去における未來を表す際に用いられる動詞時制の条件法と歴史叙述において用いられる FH の違いを分岐的時間 (*temps ramifié*) の概念に依拠しつつ見てみよう。条件法は形態的に不定法形態素 *-r*、および *ait* という *avoir* の半過去形が組み込まれていることから分かるように、過去時 (以下、*t₁* と略記する) が基準点となることを明示している時制である。したがって視点 (*point de vue*、以下 PDV と略記する) が過去時に置かれる。

¹ 本稿は、筆者が 2022 年 6 月に筑波大学人文社会科学研究科に提出して同年 9 月に「博士 (言語学)」の学位を授けられた博士論文『フランス語の動詞未來時制における歴史的未來の研究』の 2.3 節、ならびに 4.4 節の内容をもとにして、その後の考察を加筆したものである。

- (1) Il pleuvait. Le match **aurait** donc lieu en salle.²

雨がふっていたので、試合は室内でおこなわれることとなった。

(Confais, 1990 : 294, 渡邊, 2014 : 68 より引用)

これを図にすると次のようになる。命題 P : < Le match – avoir lieu en salle > は、半過去形 Il pleuvait によって指示される過去時 t_1 に視点 PDV をおいて展望された相対的未来時に位置づけられる。その際、「P は発話時点 t_0 に直接定位されるのではなく、あくまでも PDV (t_1) を介して、PDV (t_1) からの後方性として定位される。そのため、P と t_0 との直接の前後関係はきまっていない。」(渡邊, 2014 : 68)

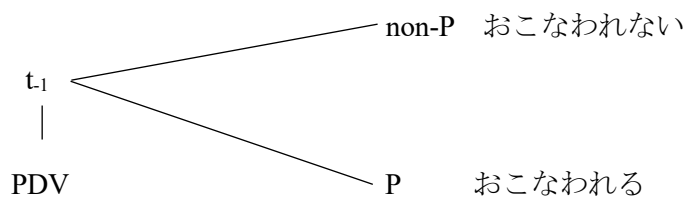


図 1 : 例文 (1) の分岐的世界

また、条件法は視点が直接過去に置かれるため、結果的にたとえば反実仮定の性質を表し得る。

- (2) [...] s'il **avait** la chance de prendre un beau poisson, en dessous de l'écluse du canal, on le **vendrait** et on **achèterait** du pain.

運河の水門の下で立派な魚をとることができたら、それを売って、パンを買うことがで
きるだろうに。

(E. Zola, *Germinal* : 192, 渡邊, 2014 : 69 より引用)

- (2) を図示すると次のようになる。³

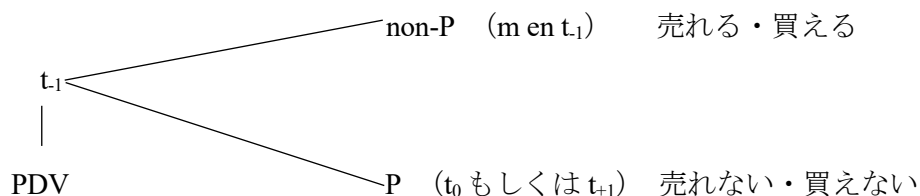


図 2 : 例文 (2) の分岐的世界

過去に起きた事実を提示していく歴史叙述と話し手や書き手の主観である反実仮定、つまり P ではなく non-P を望む条件法は相いれない。条件法が反実仮定用法を有していることから、

² 本節の例文における条件法の太字と波線下線の強調は、本稿筆者によるものである。

³ 図における m は Martin (1983 : 133-134) の理論による可能世界 (mondes possibles) の略号である。

Benveniste の「歴史＝物語」(histoire) レベルである歴史叙述において条件法を用いると時制的条件法とも反実仮想の条件法とも両方解釈できることになる。つまり、 t_0 への位置づけが問題外となるため条件法は不確実性が強い。

一方 FH は不定法形態素 $-r$ 、および a という avoir 現在形から構成されており、実際には過去に関する叙述でも過去ということが明示されず、視点 PDV も歴史的現在に定位されるため、純粋に事行が定位された基準時より後に成立するものだという前望的な時間的展開を示すことができる。このことを図 3 で図説しよう。

- (3) 22 avril. — La cour martiale prononce (malgré Rossel) l'acquittement d'un colonel trouvé en état d'ivresse, condamne à des peines relativement légères des gardes accusés d'indiscipline et décide la dissolution d'un bataillon, le 105°. La Commune cassera l'arrêt.

(Henri Lefebvre, *La Proclamation de la Commune*, 第 7 部 1 章 : 377) ⁴

四月二二日 — 軍法会議は（ロセルの意に反し）酔態をとがめられた一大佐の無罪放免を宣し、規律違反で告発された衛兵たちに比較的軽い判決を下し、さらに第一〇五大隊の解散を決定する。コミューンはやがてこの判決を破毀するであろう。

(河野健二 [ほか] (訳) 『パリ・コミューン』 下巻 : 309)

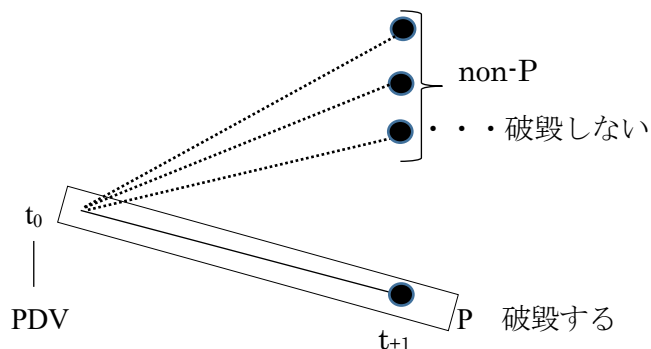


図 3 : 例文 (3) の分岐的世界

(3) の « La Commune cassera l'arrêt. » を条件法を用いた文 « La Commune cassera l'arrêt. » に変えると、事実の提示の中で挿入された反実仮想の「破毀しない」という解釈も否定できない。

このように、条件法は結果的に反実仮想のモダリティを持ち得るがゆえに、FH に比べて確実性が弱い。⁵ この確実性の弱さもまた、過去のすでに達成された事実を述べる歴史叙述と条件法が相いれない理由の一つである。

以上のような性質の違いにより、歴史叙述において未来を表す際（間接話法の補足節以外）には、条件法ではなく FH が好まれると思われる。また、分岐的時間が過去においても適用される

⁴ 用例出典の書誌的詳細についてはいずれも末尾の一覧を参照されたい。

⁵ Martin (1983 : 133-134) が、条件法が一般の可能世界を指示し、単純未来形が可能世界のなかで蓋然性の高さによって卓立された期待世界を指示するとの仮説を立てていることを参照のこと。

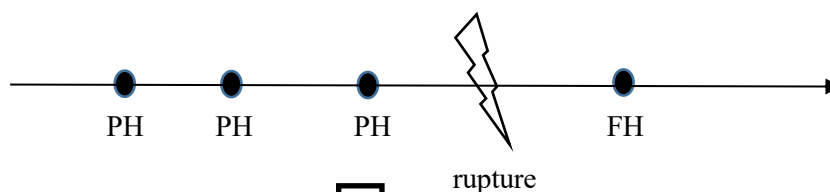
FH の潜在的可能性の暗示機能を観察したが、これは過去が開かれたものであることも示している。単純過去形など分岐的時間を持たない動詞時制による叙述と FH を用いた叙述における効果の違いの一つに、この分岐的時間提示の差異にもとづく開かれた過去の表象機能が挙げられるであろう。

最後に、FH がもたらす文体的効果である「時間における跳躍」(un saut dans le temps) について見ておきたい。(3) では、現在形を基調として出来事が叙述されている。FH が用いられている箇所ではこの継起的な叙述から離脱することになり、時間における跳躍が果たされている。もし PH のみで歴史叙述がなされるなら、図 4 に示すように、PH のそれぞれの生起によって指示される出来事が単なる継起として羅列的に示されている。それに対し、PH を基調とする文脈で FH を用いると、図 5 の＜時制による時間表示＞のように、後の出来事（過去から見た未来の不確定性による断絶を隔てた出来事）への跳躍がなされることになる。その結果として、＜変化した時間感覚＞に示すように、時間の流れが加速し、後の出来事が局所的に先取りされ、牽引されるような効果が得られる。Confais (1995 : 387) は映画における flash back と同じ技巧であるとしているが、ここではむしろ先取りがなされていることから、実際には flash forward とでも呼びたい現象が起きていると言える。



図 4：歴史的現在のみによる歴史記述

＜時制による時間表示＞



＜変化した時間感覚＞

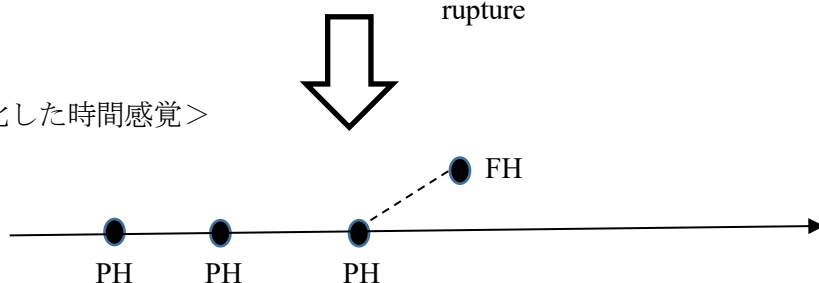


図 5：FH の牽引効果

3. コーパスについて

本稿の研究で例文を収集するために、日刊紙 *Libération* を用いた。この新聞は、フランス人の哲学者、小説家、劇作家である SARTRE, Jean-Paul Charles Aymard (1905-1980) と他数人のフラン

ス人ジャーナリストたちによって 1973 年に設立された大手日刊紙の一つであり、政治、文化、社会、経済など様々なトピックを扱っている。その中の一つに « Disparition » という欄があり、多岐にわたる分野における、直近に亡くなった著名人の死亡情報、経歴や業績などを大部分は数ページでまとめている。したがって、すべての記事は該当人物の過去を振り返って書かれている。

Libération の web サイト⁶ 上の Disparition 記事は膨大であるため、本稿ではそのなかでも 2019 年 1 月 1 日から 2019 年 9 月 30 日までの、タイトルの上に Disparition と記載されている記事に絞って分析対象とした。全部で 46 記事であるが、これは訃報における動詞時制の基本的な傾向や特徴などを明らかにするためのコーパスとして十分な量だと判断したためである。

ここで、訃報の記事構成に関しても触れておく。同じく大手日刊紙である *Le Monde* の訃報記事をコーパスとした宮脇（2020：59）によると、訃報の構成は以下のとおりである。

表 1：訃報記事の構成

①見出し
②リード文
③死亡時の状況や死因について書かれた詳報（以下、詳報） （・哀悼）
④経歴・業績 （⑤晩年の出来事）

⑤晩年の出来事と「哀悼」は記事によっては書かれていないこともあり、「哀悼」は①と②を除くその他の構成部の後に現れることもある、と述べている。これにもとづいて *Libération* の訃報構成を観察していくと、*Le Monde* の ③「詳報」に相当する部分がない。これは *Le Monde* の訃報記事は第一報（速報）を兼ねているのに対し、*Libération* では翌日以降に一層詳細な追悼記事として書かれている場合が多いからである。

表 2：*Libération* の訃報記事の構成

①見出し（タイトル）
②リード文
③印象的な出来事
④経歴・業績 （⑤哀悼） （⑥晩年の出来事）
⑤・⑥は順不同またはなし

⁶ <https://www.liberation.fr/>

Libération では、③に相当する箇所では、故人の人生のなかでも印象的な出来事を取り扱っている。また、⑤哀悼、⑥晩年の出来事は書かれていないこともある。これにより、新聞社によって細かな構成は異なってくるが、大まかな枠組みはほぼ同じであることが明らかになった。もちろんすべての記事が上記の構成どおりであるわけではないが、本稿における訃報記事では、これを基本的構成として扱い分析していく。

この構成における未来形の出現傾向に関して少し触れると、全 46 記事のコーパス中では①見出し（タイトル）に未来形は全く使用されていない。また、②リード文でも FH の生起が 1 記事に見られ、前未来形が 2 記事に見られるのみであり、他の未来表現も全く用いられていない。さらに、迂言的未来形が生起する記事では、ほぼすべての記事において他の未来形の使用も観察され、迂言的未来形だけが使用される記事は 2 つのみしか確認できなかった。そして大きな特徴としては、全 46 記事中 FH を用いている記事は約 7 割に及ぶことであろう。単純未来形の詳しい内訳は次の節で提示する。

4. 訃報における単純未来形の出現傾向

Libération 紙の訃報における単純未来形の生起数値と傾向を見てみよう。下記の図 6 では、記事ごとに生起数値を一覧した棒グラフを用いている。ただし、各記事の単語数が異なるため、100 語あたりの生起数にすると、図 7 の通りとなる。また、表 3 では各記事の単語数を提示している。なお、以下では単純未来形の FH 以外の生起を FS と略記する。

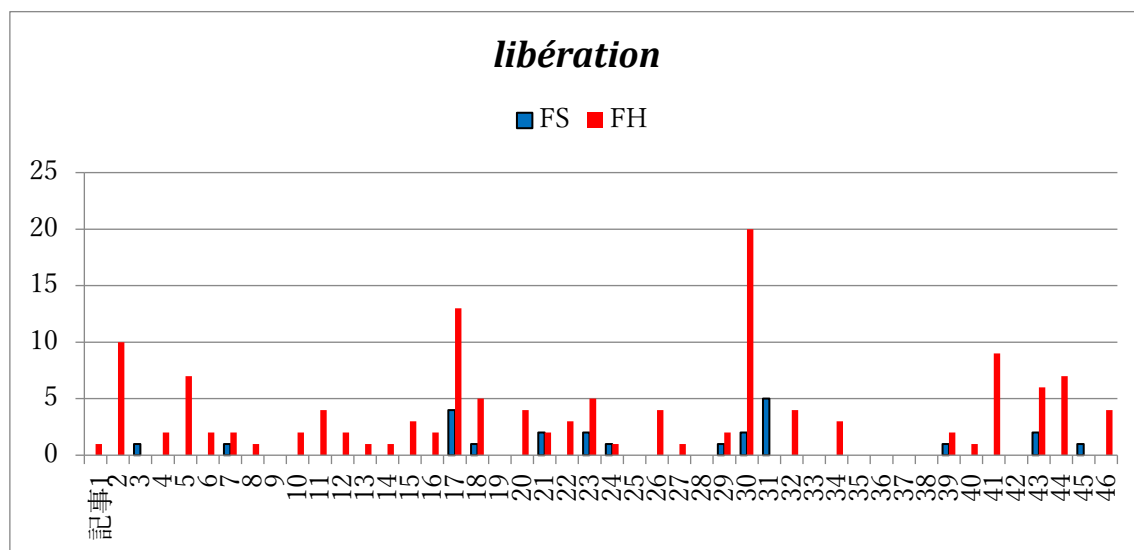


図 6：訃報（*Libération* 紙）における FS・FH の出現傾向

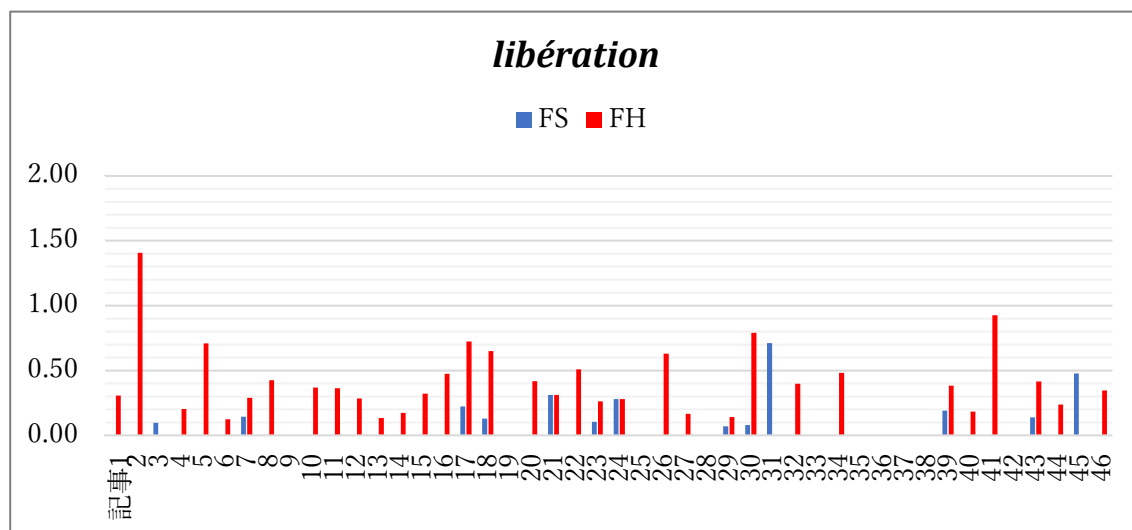


図7：訃報（*Libération* 紙）における 100 語あたりの FS・FH の出現傾向

表3：訃報（*Libération* 紙）における FS・FH の生起数

記事	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
単語数	326	711	1023	985	989	1621	690	235	749	543
FS+FH	1	10	1	2	7	2	3	1	0	2
FS	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
FH	1	10	0	2	7	2	2	1	0	2
%	100	100	0	100	100	100	67	100	0	100

記事	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
単語数	1102	704	744	580	932	421	1797	771	443	958
FS+FH	4	2	1	1	3	2	17	6	0	4
FS	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0
FH	4	2	1	1	3	2	13	5	0	4
%	100	100	100	100	100	100	76	83	0	100

記事	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
単語数	643	589	1899	359	317	635	606	641	1422	2528
FS+FH	4	3	7	2	0	4	1	0	3	22
FS	2	0	2	1	0	0	0	0	1	2
FH	2	3	5	1	0	4	1	0	2	20
%	50	100	71	50	0	100	100	0	67	91

記事	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
単語数	702	1006	430	622	564	445	385	401	523	545
FS+FH	5	4	0	3	0	0	0	0	3	1
FS	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0

FH	0	4	0	3	0	0	0	0	2	1
%	0	100	0	100	0	0	0	0	67	100

記事	41	42	43	44	45	46	合計
単語数	971	421	1441	2960	210	1152	
FS+FH	9	0	8	7	1	4	160
FS	0	0	2	0	1	0	24
FH	9	0	6	7	0	4	136
%	100	0	75	100	0	100	85

(※パーセンテージはFS+FHのうちFHが占める割合である。小数点以下は四捨五入する。)

図 6・7 ならびに表 3 より、新聞記事の訃報では単純未来形の使用自体は多いとはいえないものの、そのなかでも FH の使用頻度が際立っていることは明らかである。

5. 用例分析

以下、次のような手順を踏みながらコーパスを検討していく。まず、調査範囲に生起したすべての単純未来形を、「歴史的未來を示さない単純未來形」(FS)と「歴史的未來を示す単純未來形」(FH)の2つに分類する。5.1 節では「歴史的未來を示さない単純未來形」を例示し特徴を挙げ、5.2 節で「歴史的未來を示す単純未來形」を観察する。さらに他の動詞時制との共起による統辞論的、文体論的特徴をつづく節で検討していく。5.3 節では歴史的現在との共起、5.4 節では過去諸時制との共起を分析する。

5.1. 歴史的未來を示さない単純未來形

まず、歴史テキストと同様に、訃報においても生起する単純未來形のすべてが FH として機能しているわけではない。訃報において歴史的未來を示さない単純未來形の特徴は、以下の I、II、III の3つに分けられると考える。

I: 「予告」に相当する

- (4) Les hommages à Johnny Clegg ont plu, mercredi, sur les réseaux sociaux et dans la presse nationale, venus d'artistes, de personnalités, de politiques de tous bords et de milliers de citoyens ordinaires. Beaucoup ont célébré sa carrière et son engagement, d'autres évoquaient leurs souvenirs, lors d'un concert ou lorsqu'une de ses chansons avait accompagné un événement important de leur vie. « *Il a laissé une marque indélébile dans le pays*, a déclaré Pule Mabe, le porte-parole du Congrès national africain (ANC), le parti au pouvoir. *Sa musique continuera à résonner à nos oreilles pendant de nombreuses années.* » Les funérailles **se dérouleront** dans l'intimité, à la demande de la famille, mais une cérémonie devrait permettre au public de payer ses derniers respects au

chanteur.

(liberation.fr; 17/07/2019) ⁷

水曜日、ジョニー・クレッグへの賛辞がソーシャルネットワークや全国紙に殺到しました。アーティスト、著名人、あらゆる立場の政治家、そして何千人もの一般市民から来ています。彼のキャリアや献身を称える人もいれば、コンサートの記憶や人生の重要な出来事には彼の歌がともにあった時の記憶を思い起こした人もいます。「彼はこの国に消えない足跡を残しました。と与党であるアフリカ民族会議 (ANC) のスポークスマン、ピュール・マベ氏は語りました。彼の音楽はこれから何年も私たちの耳に鳴り響き続けるでしょう。」葬儀は遺族の希望により内輪で行われることになりますが、一般の人々がこの歌手に最後の敬意を表すことができるセレモニーが予定されています。⁸

II : 書き手の意見・感情

- (5) **Enigmatique.** L'année dernière, il avait rejoint le service de presse de l'ambassade de France à Bangkok. Il était apaisé de l'angoisse du pigiste, mais le métier de journaliste lui manquait. Arnaud était un bon compagnon de reportage. On se souviendra d'un fou rire devant les pingouins enfermés dans une pièce glacée du zoo désert de Naypyidaw, en Birmanie en 2012. Il avait l'allure d'un éternel ado, mince, toujours l'air rêveur, dans la lune, énigmatique, souvent un béret de titi parisien vissé sur la tête. On le pensait secret, discret, timide, et tout à coup il sortait une blague absurde, avec un goût prononcé pour l'humour des années 70, à la *Charlie*. Puis, il repartait, avec un petit sourire en coin. C'est ce sourire-là que l'on gardera en mémoire. Salut Arnaud.

(liberation.fr; 29/04/2019) ⁹

「謎めいた人物」去年、彼 [=アルノー ; 本稿筆者註] はバンコクにある在フランス大使館のプレスオフィスに加わった。フリーランスとしての苦悩からは解放されたが、ジャーナリストという職業が恋しくなった。アルノーは良き取材仲間だった。2012 年、ビルマのネピドーの閑散とした動物園の氷の部屋に閉じ込められたペンギンを前に笑いだしたのを覚えている。彼は永遠の 10 代のように細い外見をし、いつも夢見がちで、ぼんやりとしていて、謎めいていて、よくパリの若者のベレー帽をかぶっていた。私たちは、彼は秘密主義で控えめで恥ずかしがり屋だと思っていたが、*Charlie* 誌では 70 年代のユーモアのセンスが際立ったばかげたジョークを急に放っていた。そして片隅に優しい微笑みを携えて去っていった。私たちはこの笑顔を忘れません。さようなら、アルノー。

- (6) Jean-Louis Chrétien est mort vendredi, à 9 h 28 du matin, à l'âge de 66 ans. Encore peu connu du grand public, il a préféré l'ombre à la lumière. Fuyant sa propre image, quoiqu'il n'eût rien à cacher, il se refusait par principe à revêtir une de ces renommées factices qui se bâtissent à coups de bonnes fortunes médiatiques. Philosophe et poète, il voulut l'être sans se soucier de le paraître. Maintenant

⁷ https://www.liberation.fr/planete/2019/07/17/mort-de-johnny-clegg-l-afrique-du-sud-pleure-une-icone_1740592/

⁸ 以降、*Libération* から引用した記事の和訳はすべて本稿筆者によるものである。

⁹ https://www.liberation.fr/planete/2019/04/29/mort-d-arnaud-dubus-ancien-journaliste-de-libe-a-bangkok_1724098

que son corps a péri et que peut éclater dans son ordre la grandeur de l'esprit qui l'habitait, il **faudra** bien se rendre à l'évidence : il fut l'un des plus grands de sa génération.

(liberation.fr; 02/07/2019) ¹⁰

ジャン＝ルイ・クレティアンが金曜日の午前 9 時 28 分に 66 歳で亡くなった。まだ一般にはあまり知られていないが、彼は光よりも影を好んでいた。隠すものは何もないけれど、自分のイメージから逃れ、メディアの力で作られた作為的な評判をまとうことを拒否する主義だった。哲学者であり詩人でもある彼は、見た目を気にすることなく、ありのままにいたいと思っていた。彼の肉体が失われ、宿っていた精神の偉大さがそれ自体の次元で輝けるようになった今、私たちは明白な事実を受け入れるべきでしょう：彼は同世代の中で偉大な人物の一人だった。

III : インタビューやコメントなどの引用箇所内に生起

- (7) L'année dernière, Richard Williams était l'invité d'honneur du festival d'Annecy. Depuis une vingtaine d'années et la sortie de son livre *The Animator's Survival Kit*, il était devenu un des grands professeurs d'animation. « Si on partage un savoir-faire avec vous, vous **pourrez** travailler vite et mieux, avait-il dit. Moi, il a fallu que j'arrache des conseils un par un. Les animateurs de l'époque ne partageaient pas leurs secrets comme ça. C'étaient des tueurs. »

(liberation.fr; 18/08/2019) ¹¹

昨年のアヌシー映画祭では、リチャード・ウィリアムズが主賓として招待された。20 年ほど前 *The Animator's Survival Kit* という本を出版して以来、彼はアニメーションの偉大な教授の一人となっていた。「もし私たちがあなた方とノウハウを共有すれば、あなた方は早くより良い仕事ができるでしょう、と彼は語っていた。私は、アドバイスを 1 つ 1 つ自分からもぎ取っていかなければなりませんでした。当時のアニメーターは、そんな風に自分たちの秘密を共有しませんでした。彼らは [=若いアニメーターにとって は ; 本稿筆者註] 人殺し同然でした。」

- (8) C'est cette ouverture, cette audace, et ce respect de l'autre que l'Afrique du Sud retiendra de Johnny Clegg. « Nous **continuerons** à chanter Asimbonanga. Nous **continuerons** à travailler pour construire le pays de ses rêves », a tweeté la Fondation Nelson-Mandela à l'annonce de sa disparition.

(liberation.fr; 17/07/2019) ¹²

南アフリカがジョニー・クレグから学ぶことになるのは、この柔軟性、果敢さ、そして他者への敬意だ。「私たちは *Asimbonanga* を歌い続けます。私たちは、彼の夢見た国を作るために努力を続けます」と彼の死の発表に対してネルソン・マンデラ財団はツイートした。

¹⁰ https://www.liberation.fr/debats/2019/07/02/mort-du-philosophe-et-poete-jean-louis-chretien_1737588

¹¹ https://next.liberation.fr/cinema/2019/08/18/richard-williams-createur-de-roger-rabbit-pose-un-lapin_1745911

¹² https://www.liberation.fr/planete/2019/07/17/mort-de-johnny-clegg-l-afrique-du-sud-pleure-une-icone_1740592/

I で挙げた FS は、書き手の執筆時を現在という基準点におき、そのうえで今後起こるとされている事柄について述べる場合に使用されている。単純未来形の時間的用法のひとつである「予告」である。II は亡くなった人物に対する書き手の考えや感情を伴った意見などを述べる際に用いられている FS であり、単純未来形のモデル用法のいずれかに相当する。この分類内では、「われわれ」を示す On という主語とともに用いている場合が多く見られる。III は故人が過去に答えたインタビューや、故人に対する知人によるコメントなどの引用箇所内で使用されている FS である。インタビューやコメントは当然その発話時現在に立脚している発言のため、「話」(discours) レベルに分類される FS を用いる。

これら 3 つの特徴に区分される FS は、書き手やインタビューなどの主観が排除されておらず、また I・II は出来事の発生時が書き手の執筆時点、つまり書き手の現在時より後である際に用いられる点から FH とは言い難い。したがって、本稿が掲げる研究目的と合わず、以下においても分析対象として取りあげないこととする。

5.2. 歴史的未來を示す単純未來形

ここでは、訃報で用いられる FH を観察していく。まず、FH と FS の違いがわかりやすい例を見てみよう。

- (9) Day étend sa palette au drame, mais toujours musical, aux côtés de James Cagney en gangster dans *les Pièges de la passion* (1955). Elle se réinventera ensuite dès les années 60 dans des comédies romantiques dont le sympathique *Confidences sur l'oreiller* (1959), sa seule nomination aux oscars comme meilleure actrice. Son décès permettra peut-être de réévaluer une carrière jugée trop lisse. (liberation.fr; 13/05/2019) ¹³

デイは、ドラマにも幅を広げるが、ミュージカル界でも活動し、*les Pièges de la passion* (1955年) ではギャング役のジェームズ・キャグニーと共演した。その後、1960年代からロマンティック・コメディで再起を図り、楽しい映画である*Confidences sur l'oreiller* (1959年) で唯一アカデミー賞主演女優賞にノミネートされた。死によって、順調すぎると思われていた彼女のキャリアは見直されることになるかもしれない。

ここでは 2 つの単純未来形が用いられているが、前者は実際には FH であり、後者は FS である。これを理解する手順としてまず、このコーパスがどのようなジャンルのものかを思い出す必要がある。訃報は読み手から見て直近の死に関する記事であるため、後者の Son décès (彼女の死) という主語より、今という現在に位置する読み手から見て時間的に後の出来事を FS を用いて述べていることが分かり、この FS の使用には妥当性がある。一方前者は亡くなったデイの経歴を追っている文脈の中で、「その後、1960 年代から」再起を図りどのような結果に至ったかという

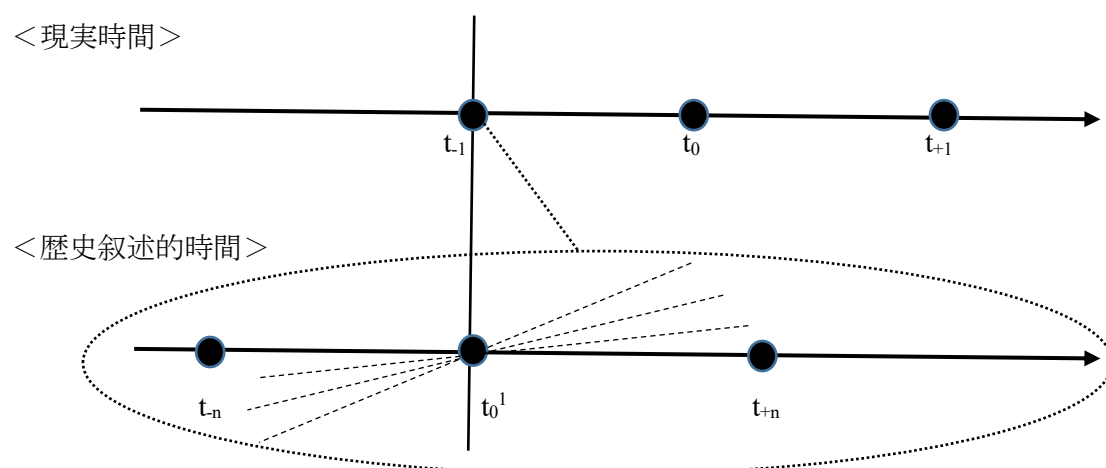
¹³ https://next.liberation.fr/cinema/2019/05/13/mort-de-doris-day-actrice-pas-si-lisse_1726759

叙述となっている。この言表連鎖を踏まえると、再起を図ったのは読み手から見て既に起こった過去の事実であり、書き手の考え等でもないため、FH であることが導かれる。このように、FS と FH は分かりやすくパラグラフや段落で区切られて用いられているわけではなく、また同じパラグラフ内でも両者が近い位置に生起することも稀ではないため、文脈から読み取ることで明らかになることもある。したがって、従来の短文抜粋を用いた研究では不十分であり、テキストのジャンルを踏まえながらより大きな言表連鎖の流れの中で観察する必要があることが分かる。

5.3. 歴史的現在と歴史的将来の共起

計報では、分析の結果、歴史的現在を基調とする記事が大半を占めることが確認された。これは、過去時制を基調とする場合が多い歴史テキストとは異なる傾向である。以下では、その理由を探るとともに両テキストの共通点を見出していく。

まず、図 8 を適用してみよう。実際には現実時間の過去 t_1 に位置する出来事を、歴史叙述的時間軸の導入により、疑似的に現実時間の発話時 t_0 に準ずる時点としての t_0^1 に置くことができる。



(※各時間の間隔は決まっていない。また、歴史事実の新発見などによって変わるため点線で潜在性を表す。)

図 8：現実時間軸と歴史叙述的時間軸

歴史叙述的時間は、読み手からみて一般に時間的乖離が大きい歴史テキストに限らず、過去の実際に起きた出来事を叙述しているテキストジャンルに属するすべてに適用できるだろう。つまり、書き手の現在から直近の過去に逝去した人物の詳細を語る計報記事も含まれる。語りの時制として単純過去形を基調とした場合、Grevisse (1980) は次の引用のように、単純過去形には「現在ともし得る接触を考慮することはない」と述べている。

Le passé simple (passé défini) exprime un fait complètement achevé à un moment déterminé du passé, sans considération du contact que ce fait, en lui-même ou par ses conséquences, peut avoir avec le présent. Il n'implique en soi ni l'idée de

continuité ni celle de simultanéité par rapport à un fait passé et marque une « action-point ».

(Grevisse, 1980 : 837)

単純過去形(定過去)は過去の定まった時点に全く完遂された事実を示す。

その際、その事実が、それ自体によって、あるいは結果によって、現在と持ち得る接触を考慮することはない。単純過去形は、それ自体では、ある過去の事実との連続性の観念も、同時性の観念も含意しないで、「点括的行為」(« action-point »)を標示する。

つまり、単純過去形は閉じられた時制とも言い換えられるだろう。この現在との接触を考慮しない閉じられた時制基調での叙述は、現在に位置する読み手に時間的乖離の印象をもたらしやすいと考える。したがって、歴史テキストに用いられやすいともいえるかもしれない。一方訃報記事は上記に述べたとおり、書き手や読み手の現在から直近の過去に逝去した人物に関する記事であるため、彼らにとっては同じ現在に起きた出来事と捉えられ、時間的乖離はほぼなく、当該人物との時間的・心的距離を近く感じる傾向があると思われる。ゆえに、訃報記事では PH 基調の記事が多いと考えられる。ここでの PH は、読み手が存在する現実時間の現在 t_0 に立脚しているわけではないが現実時間の t_1 との時間的距離は短く、歴史叙述的時間の t_0' へ読み手の意識を移行することにより心的距離もさらに近く感じることとなる。これが訃報記事と PH 基調との親和性の理由であろう。

次に、小川(2016, 2022)で提案した PH と FH の構造図である図 4 と図 5 を見よう。歴史テキストにおける PH での叙述は、歴史叙述的時間軸上で事行を継起的に並べていくものであるのに対して、その点的連続性から跳躍した先の事行を述べる際に FH が用いられている。この特徴が訃報記事においても同様の機能として見られるのか、以下でコーパスの実例に即して検証していきたい。

まず、段落の終わりでしめくくりとして現れる FH を見てみよう。

- (10) Fils d'un vendeur de bonbons, Peter Brodbeck est né en 1944 à Lissa (Leszno), en Pologne. Le petit Peter — il changera plus tard de nom à cause d'un autre photographe homonyme — grandit dans la Ruhr, à Duisbourg, près de Düsseldorf, dans une ambiance spartiate, la famille ayant fui la Pologne. Jeune homme, il parcourt l'Europe en autostop, passé par Berlin où il découvre artistes et galeries et s'inscrit aux Beaux-Arts. Rentré à Düsseldorf, dans le vivier de l'art conceptuel où il s' imagine un temps artiste avant de tout lâcher après avoir vu les œuvres de Joseph Kosuth, Peter Lindbergh devient l'assistant d'un photographe commercial « *dénué d'ambition* » qui lui enseigne les ficelles du métier et n'étouffe pas son disciple. Il ouvre alors son propre studio et travaille pour le magazine *Twen* puis pour *Stern*. Puis s'installe à Paris. Il gardera en tête le principe de Joseph

Kosuth : c'est l'idée qui fait la photo et non pas le sujet.

(liberation.fr, 04/09/2019) ¹⁴

菓子販売業者の息子であるピーター・ブロードベックは、1944 年にポーランドのリッサ（レシュノ）で生まれた。リトル・ピーターは、一他に同名の写真家がいたため、後に名を変更することになる。家族がポーランドを逃れてきたため、デュッセルドルフ近郊のルール地方にあるデュイスブルクで、スパルタ式的环境の中で育つ。若い頃はヒッチハイクでヨーロッパを回り、芸術家や画廊を発掘したり美術アカデミーに入学したベルリンを通った。デュッセルドルフへ戻り、コンセプチュアル・アート発祥の地でジョセフ・コーススの作品を見た後、すべてをやめる前に一時期芸術家の自分の姿を想像するが、ピーター・リンドバーグはある「野心のない」商業的写真家のアシスタントとなった。彼はリンドバーグに仕事のコツを教え、弟子を潰すこともしなかった。それから、リンドバーグは自分のスタジオを開き、雑誌 *Twen* や *Stern* の仕事を行った。その後、パリに落ち着いた。彼はジョセフ・コーススの主義を念頭に置くようになる：写真を作るのはアイデアであって、被写体ではない。

この段落では、リンドバーグの経歴の動きを出生から継起的に叙述している。しかし段落の最後は行動（外的）ではなく「主義」（内的）で終わっている。このように一連の流れから離脱し外から内へ話題転換が行われ、今後どのようなことになるのかという成り行きを跳躍し局所的に先取りをするかたちで FH が用いられている。このことから FH が段落内の展開のしめくくりの機能を果たしているといえるだろう。また、(10) のはじめの FH はダッシュ記号 (tired, -) のなかで生起している。この記号は地の文から独立して挿入されていること、物語的事行展開と断絶して後に起こる事行を補足説明していることを示す。この記号の間に FH が用いられていることから理解できるように、継起的な地の文から断絶するダッシュ記号などの記号と同様の機能を有する FH は親和性が高い。

つづいて類例を見てみる。

- (11) Dans les années 80, Peter Lindbergh collabore au magazine *Lei* dirigé par Franca Sozzani, une reine de la mode qui prendra la tête de *Vogue Italie*. Le photographe est alors sur des rails. A la fin des années 80, Alexander Liberman, directeur des éditions Condé Nast, lui commande une série mode. Les clichés ne plaisent finalement pas à la rédaction du *Vogue* américain qui les range au placard. Ils seront publiés un an plus tard, en 1988, lorsque Anna Wintour prendra la tête du magazine avec la ferme intention d'imprimer sa patte. (liberation.fr, 04/09/2019) ¹⁵

1980 年代、ピーター・リンドバーグは、後に *Vogue Italie* のトップ となる ファッションの女王、フランカ・ソッツァーニが指揮をとる雑誌 *Lei* と一緒に仕事をした。当時、このカメラマンの仕事は順調だった。80 年代末、Condé Nast の編集長であるアレクサンダー・

¹⁴ https://next.liberation.fr/arts/2019/09/04/peter-lindbergh-regard-sans-fard_1749314

¹⁵ https://next.liberation.fr/arts/2019/09/04/peter-lindbergh-regard-sans-fard_1749314

リーバーマンは、彼にファッションシリーズを依頼した。結局、この写真たちは *Vogue américain* 編集部気に入るところとならず、戸棚にしまい込まれてしまった。その1年後の1988年に、アナ・ウィンターが自分の技量を示したいという強い意志をもって同誌のトップとなり、これらの写真は掲載されることとなる。

ここでは雑誌の仕事に関して PH で継起的に語られており、最後に FH が用いられパラグラフが閉じられている。時間副詞 *un an plus tard, en 1988* (1年後の1988年) を伴って FH が用いられ、明確に時が指定された後に起こることになる出来事へ跳躍している。このように、継起的な流れと断絶し指定された時点へ視点が跳躍する時間副詞と FH の共起もよく観察される。そして一連の淡々とした説明的な展開を記述していた語りが、展開のおわり示す先の未来へと一気に跳躍するため展開の終着点、つまりパラグラフのしめくくりとして機能していると考えられる。

また一つ目の FH は、*qui* から始まる説明の役割を果たす関係節内で用いられている。(10) のダッシュ記号という記号文字同様、説明的挿入では地の文の流れを乱さず一時的に補足として未来の事行を先取りすることができるため、FH と共起しやすい。

同様に関係節で用いられている例をもう一つ見てみよう。

(12) **Androgynie et simplicité**

En 1988, un cliché le met sur orbite commerciale pour une carrière qui durera près de quarante ans : sur une plage de Malibu, il fait poser six filles en chemise d'homme blanche et petite culotte. Les super bombes Estelle Lefébure, Karen Alexander, Rachel Williams, Linda Evangelista, Tatjana Patitz et Christy Turlington ont l'air de s'éclater entre copines, intimes et naturelles. Elles deviendront riches et célèbres. Peter Lindbergh, père des *supermodels*, déniche au crépuscule des eighties l'émotion sans artifice qui caractérisera ses images, à l'instar d'un Bruce Weber ou d'un Paolo Roversi qui adoptent une veine sobre, noire et blanche, pour se démarquer, dans la filiation d'un autre photographe allemand célèbre, Helmut Newton... Kate Moss en fermière nue dans une salopette pour *Harper's Bazaar* en 1994 sera un autre cliché iconique, inspiré de Paul Strand. Là encore, androgynie et simplicité appliquées à une féminité sans fard sont les secrets de beauté lindberghienne. (liberation.fr; 04/09/2019) ¹⁶

「両性具有とシンプルさ」

1988年、一枚の写真が彼 [=リンドバーク; 本稿筆者註] を、40年近く続くことになるキャリアへの商業的な軌道に乗せた：それは、マリブのビーチで、白い男物のシャツとショーツを着た6人の女の子にポーズをとらせた写真。ーエステル・ルフエビュール、カレン・アレクサンダー、レイチェル・ウィリアムズ、リンダ・エヴァンジェリスタ、タチアナ・パティッツ、クリスティ・ターリントンといったスーパーボム [=あだ名；

¹⁶ https://next.liberation.fr/arts/2019/09/04/peter-lindbergh-regard-sans-fard_1749314

本稿筆者註] たちは、親密で自然であり友人間で大いに楽しんでいるように見える。彼女たちはお金持ちになり、有名になる。「スーパーモデル」の父であるピーター・リンダーバーグは、80 年代の終わりに、ブルース・ウェーバーやパオロ・ロヴェルシのように、自身のイメージを特徴づけることになる人工的でない感情を見出した。ウェーバーやロヴェルシは、ドイツの著名な写真家であるヘルムート・ニュートンの系統の中で、自分たちを差別化するために白黒のシンプルな着想を取り入れた。1994 年に *Harper's Bazaar* に掲載されたオーバーオールを着た裸の農民役のケイト・モスは、もう一つの象徴的な写真となるが、ポール・ストランドの影響を受けたものである。ここでもまた、飾らない女性らしさを適用した両性具有とシンプルさが、リンダーバーギアンの美の秘密となっている。

ここでも *qui* から始まる関係節や時間副詞との共起が確認できる。*qui* の関係節とともに用いられている FH は主節の動詞が PH であるため、その事行よりも時間的に後の出来事だと示すために用いられていることは明らかであるが、それだけではない。FH はその事行が潜在的選択肢の一つであることを暗示するため、歴史叙述的時間軸上で PH の生起に沿って淡々と出来事を追っている読み手に、開かれた未来の印象を与える。加えて 2 節の図 5 で見たように、PH から FH への視点の跳躍は、読み手にその事行を際立たせる機能を持たせると考える。

同時に、過去を叙述するということは、必ず現実時間軸上からの回顧的視点とともに FH が用いられており、現在時基準と過去時基準による視点の二重構造を形成することになっている。この視点の二重構造は、主節と *qui* 関係節という二部的構造と対応している。関係節は主節動詞が存在している以上追加説明の情報と捉えられ、事行を振り返る回顧的視点をとまなう FH と補足説明の関係節は親和性があると言えるだろう。

さらに、パラグラフのはじめでテーマとして、段落のおわりでしめくくりとして現れる例を試みる。

(13) **Spectacle total**

Cinq ans plus tard, en mai 1965, Jarman sera ainsi l'un des vingt signataires de la charte originelle de l'AACM, une organisation qui révolutionnera le monde du jazz, en prônant tout à la fois l'émancipation de tous et la responsabilité de chacun. Jarman s'y retrouve d'autant plus qu'il pratique le théâtre et écrit des poésies. C'est d'ailleurs l'une des particularités de son premier disque, *Song For* en 1966 : il déclame d'une voix sombre des textes qui rappellent l'influence d'Amiri Baraka, dans un engagement qui voit plus loin que les termes du nationalisme noir. Le texte de *Non-Cognitive Aspects of the City* est exemplaire de sa vision d'un monde, où tout en critiquant ardemment la ségrégation, il interroge la question du pouvoir, « *noir ou blanc* ». Cette ligne de

conduite sera toujours la même lorsqu'il intègre l'Art Ensemble. (*liberation.fr*; 11/01/2019) ¹⁷

「トータルショー」

5年後の1965年5月、ジャーマンはAACM [= Association For The Advancement of Creative Musicians ; 本稿筆者註] の設立書に署名した20人のうちの1人になる。AACMとは、万人の解放と個人の責任を唱え、ジャズの世界に革命を起こすことになる組織だ。ジャーマンは、そこでいっそう演劇をしたり詩を書いたりしていた。：以下は、1966年に発表された彼の最初のアルバム *Song For* の特徴のひとつである。彼は、黒人のナショナリズムという言葉の先に見える取り組みの中で、アミリ・バラカの影響を想起させる歌詞を暗い声で歌っている。*Non-Cognitive Aspects of the City* という曲の歌詞は彼の描く世界の模範となるものであり、人種隔離を強く批判しながら、「黒人か白人か」という権力の問題を問いている。この路線は、アート・アンサンブル [= フリー・ジャズ・バンド ; 本稿筆者註] に参加しても変わらない。

ここではパラグラフの最初で FH が用いられているが、続く叙述は FH が用いられている文の事行よりも後に起こったことである。Cinq ans plus tard, en mai 1965 (5年後の1965年5月) と文頭にあるように、明らかに前パラグラフの PH で語られた事行に立脚している。ここから時には文やパラグラフ単位ではなくテキスト全体を観察する必要があることが分かる。

FH はパラグラフのはじめで用いられることにより、一気に時が跳躍した印象を与えるとともに、強調としての機能をもたらすと思われる。補足や挿入という機能よりも、一つの枠組みを構成しそのテーマとしての効果をもたらしている。つづく叙述はこのテーマに立脚したものになる。実際に、(13) では FH を用いた文が基軸となり、これに対応し FH で表される事行より後に起こった事行がつづいて PH で述べられている。

また、段落のおわりにも FH が用いられているが、それまで現在形で語られてきた事行から跳躍し、後の成り行きを先取りしている。この例でもまた一連の物語的叙述の区切り、つまりしめくくりとしての機能を果たしている。

最後に、複数の FH が連続して生起する例を見てみよう。

- (14) En 1987, Agnès Varda réalise le beau et trop méconnu *Kung-fu master*; histoire d'amour entre une quadragénaire (Jane Birkin) et un ado de 14 ans (Mathieu Demy). Juste avant la mort de Jacques Demy, elle réalise *Jacquot de Nantes* (1990), reconstitution quelque peu académique de l'enfance du cinéaste, qui vaut surtout pour la façon dont elle y monte des extraits de ses films et pour d'émouvants plans sur ses mains et sa peau d'homme malade, même si elle occulte que cette maladie est le sida, ce qui lui fut beaucoup reproché par la suite. Car ce film et, plus tard, *les Demoiselles ont eu 25 ans* (1992) et *l'Univers de Jacques Demy* (1995) contribuent à alimenter

¹⁷ https://next.libération.fr/culture/2019/01/11/joseph-jarman-mort-d-un-guerrier-poete-du-jazz_1702322

une vision capitonnée de l'auteur des *Parapluies de Cherbourg*, assez idéalisée du couple qu'ils formaient. Même si, avec sa fille Rosalie, Varda effectuera un travail essentiel et précieux de restauration et de diffusion des films de Demy, cette mainmise sur sa légende, occultant notamment l'homosexualité de son compagnon, agacera bien des admirateurs. Il faudra attendre *les Plages d'Agnès* (2008) pour qu'elle évoque les véritables causes de la mort de Demy, affirmant que lui-même avait tenu à ce silence. (liberation.fr, 29/03/2019) ¹⁸

1987 年、アニエス・ヴァルダは 40 代の女性（ジェーン・バーキン）と 14 歳の少年（マチュー・ドゥミ）の愛の物語である、美しい映画だがほとんど無名の *Kung-fu Master* を監督した。ジャック・ドゥミの死の直前、彼女は *Jacquot de Nantes*（1990 年）を監督した。この作品は、この映画監督 [=ジャック・ドゥミ；本稿筆者註] の子供時代をやや学術的に再構成したもので、彼の映画からの抜粋や、病人としての彼の手や皮膚を撮影した感動的なショットを見せるという方法によって特に価値あるものとなっている。ただし、この病気がエイズであることは隠しており、これは後に彼女が大いに非難されたことである。というのも、この作品や、後に発表された *les Demoiselles ont eu 25 ans*（1992 年）と *l'Univers de Jacques Demy*（1995 年）は、*Parapluies de Cherbourg* の作者のイメージを助長するのに貢献し、それは彼らが作り上げたカップルのかなり理想化された姿だったからだ。ヴァルダは娘のロザリーとともに、ドゥミの映画の修復と普及という最も重要かつ貴重な仕事を行うことになるが、特に自身の伴侶の同性愛を隠蔽して彼の伝説を支配したことは、多くのファンを苛立たせることになる。彼女がドゥミの死の真の原因に言及するのは、*Les Plages d'Agnès*（2008 年）を待たなければならず、ドゥミ自身がこの沈黙にこだわっていたと述べている。

いくつか過去形も混ざった叙述の段落となっているが、基調は PH である。この段落は、ヴァルダの夫であるジャック・ドゥミに関する作品の叙述である。淡々と作品に関して語っているが、この語りの流れから離れ、その先の叙述の方向性であるドゥミの同性愛に関連する未来を最後に連続して FH を用いながら提示することで、局所的に切り取られた一種の虚構的世界を構築し語りのスピードを上げている。つまり、flash back と類似した機能であり未来の先取りした事行をまとまって提示する、flash forward となっている。

以上、小川（2016、2022）で歴史テキストに即して構案した FH に関する理論や図説に沿って訃報記事を分析してきた。その結果、訃報記事においても FH は PH による継起的な事行の列挙から断絶し、跳躍した先の未来の出来事を局所的に先取りして提示することができ、またその未来の出来事は、立脚元の PH 時点での複数の未来の潜在的選択肢の一つから定立されているのだと考え得ることを確認した。そして、FH の使用は歴史叙述的時間軸上の視点からの開かれた過去を暗示すると同時に、現実時間軸上の視点から定立された一つの選択肢とともに叙述の方向性を

¹⁸ https://next.liberation.fr/cinema/2019/03/29/agnes-vara-grande-a-part_1718323

決定し先取りする。そのため、時間副詞や補足情報を示す記号文字や関係節と親和性があるものと考えられる。PH が用いられているから FH を使用するという一見シンプルに思える事実の裏には、2 つの異なる時間軸での 2 つの視点が共存していることにより可能となるという構造があると仮説が立てられるであろう。また、FH は理論上では歴史叙述的時間軸の PH に必ず立脚することと使用可能となるが、その立脚元は必ずしも前後の文にあるとは限らず、時にはパラグラフレベルを超えたところに位置していることが観察された。では、その立脚元の PH が見当たらない場合は存在しないのであろうか。FH と同様に立脚元の現在形を必要とする過去諸時制との共起とともに、次節でさらに分析していくこととする。

5.4. 過去諸時制と歴史的将来の共起

過去諸時制と FH の共起に関しては小川（2016、2022）でその仕組みを理論立て分析した。従来の先行研究では、時制は「話」と「歴史＝物語」に分類されているが、それでは説明が難しい場合がある。そこで、2 つの時間軸と発話時とは異なる基準点という概念を導入し、説明を試みた。その結果、「話」に属するといわれる過去時制と「歴史＝物語」に属するといわれる過去時制のどちらとも共起可能であることが明らかとなった。さらに、さまざまな時制による叙述のテキスト効果の仮説も立てた。ここでは、FH に関する理論を裏付けるために、歴史テキストと同じ「歴史＝物語」のジャンルに分類されるテキストである訃報記事においても同じ理論で説明可能であるかをコーパスの実例に即して観察していく。

- (15) Le 1 août 1976, le champion du monde 1975 ressort grièvement brûlé au visage et aux poumons d'un accident sur le circuit du Nürburgring, au volant de sa Ferrari dans les premiers tours du Grand Prix d'Allemagne. Passé à deux doigts de la mort (l'extrême-onction lui fut administrée), il est de retour sur les circuits, la tête dans les bandages, six semaines plus tard, là où d'autres auraient abandonné la discipline, à une époque où la F1 était beaucoup plus dangereuse que maintenant, avec de nombreux morts et blessés au cours des années 70.

Mais il laissera le titre à son rival, le Britannique James Hunt, en mettant volontairement pied à terre lors du dernier Grand Prix de la saison, au Japon, en raison du déluge qui s'y abattait. Le duel entre les deux hommes sera porté à l'écran par Ron Howard en 2013 dans *Rush*, dont le scénario avait été relu par Lauda. James Hunt, c'était le beau gosse fêtard et bagarreur, quand Niki Lauda donnait une image d'arrogance et de froideur. Déterminé, il accordait une grande importance au travail avec ses ingénieurs et à l'analyse, ce qui lui valut le surnom d'« ordinateur ».

(*liberation.fr*; 21/05/2019) ¹⁹

1976 年 8 月 1 日、ドイツ GP のオープニングラップでフェラーリのハンドルを握ってニールブルクリンク・サーキット上で事故に遭い、1975 年のワールドチャンピオンは顔と

¹⁹ https://www.liberation.fr/sports/2019/05/21/formule-1-niki-lauda-l-ordinateur-s-eteint_1728521

肺に大やけどを負いました。死の淵に立たされました（終油が施された）が、6 週間後には頭に包帯を巻いてサーキットに戻っていました。他の人であればスポーツをあきらめてしまっていただろう状況であり、F1 が今よりもはるかに危険だった時代であり、1970 年代のレースで多くの死傷者を出していた時代でした。

しかし彼は、シーズン最後のグランプリである日本でわざと地面に足を付け、ライバルであるイギリスのジェームス・ハントにタイトルを譲ることになります。襲い掛かった大洪水が理由でした。ロン・ハワード監督が 2013 年に発表した *Rush* で、二人の決闘をスクリーンに再現することになります。ラウダによって脚本がチェックされたものでした。ジェームス・ハントはハンサムで気性の荒いパーティーボーイで、ニキ・ラウダは傲慢で冷徹なイメージを与えていました。彼は毅然とし、技術者との共同作業や分析を重視していたため、このことは彼に「コンピューター」というあだ名をもたらしました。

まず、半過去形や大過去形によって構成されている二つ目の段落のはじめで FH が用いられている。どれも立脚する基準時を必要とする時制のため PH を探すと、一つ目の段落のはじめの継起的な 2 つの文で見られ、つづく条件法過去形と半過去形は時代背景を説明している。「けがを負った 1976 年 8 月 1 日のレース」(PH)、「復帰した 6 週間後のレース」(PH)、「シーズン最後のレース」(FH) と事行が継起的なことからも明らかであるように、二つ目の段落のはじめの FH は一つ目の段落の PH を基準時としている。ここでも、段落の外に基準時が置かれている例が見られ、文レベルや段落レベルでの観察では不十分なことが分かる。また、二つ目の段落は FH で表されている事行に関することが叙述されている段落となっている。断絶と跳躍により継起的な事行展開の結末としてのマーカーとなると同時に、同性質により事行に局所的に焦点化される FH は、段落やパラグラフのはじめに用いられることでテーマとしての機能を有すると言えるだろう。そしてそこには書き手がどこに重きを置くかという主観的な側面が反映されている。

二つ目の段落では半過去形による描写が多いが、これは周囲の PH や FH と基準時の関係から、現実時間軸からの回顧的な視点を利用しているものであることが分かる。したがって、現実時間軸の半過去形と歴史叙述的時間軸の FH の並列には時間軸の変化という大きな飛躍がある。現実時間の基準時から振り返る視点では、情報を与えるという説明的な客観性をもち、歴史叙述的時間軸上における基準時からの前望的な視点では事行展開を目の前で追う臨場感が強調されると考えられる。

つづいて「単純過去形」との共起も見えていく。

- (16) Pour avoir su se mettre au service des autres, Marcel Azzola n'en fut pas moins à l'initiative d'un vrai renouveau pour son instrument, qu'il dépoussiéra patiemment sans ôter la part de plaisir qu'il y a à faire valser les pieds. C'est grâce à lui, entre autres, que ce piano dit du pauvre put entrer au Conservatoire national supérieur de musique en 2002. Avec le jazz, il éprouva tout autant ses qualités d'improvisateur que de compositeur, dans les pas des meilleurs du genre, dont l'esthète

virtuose Tony Murena, sa référence, dont il partageait les élans explosifs. En la matière, il sera guidé par son pote d'enfance et complice de toujours, le guitariste Didi Duprat, qui lui présenta Django Reinhardt et l'introduisit plus généralement dans l'univers manouche. Il deviendra bientôt l'éclaireur inspiré d'une nouvelle génération, celle de Richard Galliano, avec lequel il enregistrera même une *Afro-musette* et une terrible *Panique* sur l'album *Paris musette* en 1990.

(*liberation.fr*; 22/01/2019) ²⁰

マルセル・アゾーラは、他人のために伴奏をしていただけではなく、自分の楽器を真に復活させた主導者でもありました。彼は、足のワルツを作らなければならない喜びを失うことなく、辛抱強く埃を払っていました。いわゆる貧乏人のピアノ [=アコーディオン；本稿筆者註] が、2002 年に国立高等音楽院 [の種目に；本稿筆者註] に入ることができたのは、彼のおかげです。ジャズでは、即興演奏者としての資質と作曲家としての資質が試されました。彼は参考にした耽美主義の巨匠、トニー・ミュレナをはじめとするこのジャンルの最高の人たちの足跡をたどり、その爆発的な衝動を共有しました。幼馴染であり生涯にわたって心の通じ合う仲間であるギタリストのディディ・デュプラに 導かれ、ジャンゴ・ラインハルトを紹介され、より広くジプシーの世界に触れました。彼はやがてリシャール・ガリアーノの世代といった新しい世代に影響を受けたスカウトマンになり、ガリアーノとは、1990 年にアルバム *Paris musette* で *Afro-musette* と恐るべき *Panique* を一緒に 録音しています。

ここでは、出来事を継起的に語ることに単純過去形が用いられている。単純過去形は、Grevisse (1980) や Benveniste (1966) が述べているようにそれ自体に連続性や同時性の概念がなく、出来事みずからが物語るかのようだという性質を持っており、現実時間軸で用いられる。これと似た性質を持ち平衡関係にあるのが、歴史叙述の時間軸での PH である。(16) では、基準時となる PH がなく FH が生起している。このように基準時が明示されない FH の使用は訃報記事では少なくない。これは、歴史テキストと異なり経歴を比較的短い記事にまとめなければならない、訃報記事というテキストジャンルに起因するものであると思われる。il sera guidé (導かれる) という FH は単純過去形基調の中では異質だが、導かれるというのは瞬間的な事行ではなく、少し時間的な長さがあるものに使われるため、FH の持つ焦点化された未来の先取りという機能を利用する意図が読み取れる。このように、何かを叙述するときにはつづく展開を先取りして提示する場合が多々あるが、現実時間軸での過去形を基調とした叙述ではこれを表すことができる時制が存在しないため、時間軸を超えて FH が用いられると考えられる。一般に過去未来と言われる条件法にはこの機能がない(条件法との比較に関しては小川 (2018, 2022) を参照)。他の FH はというと、Il deviendra (...になる) は *bientôt* (やがて) と il enregistrera (録音している) は *en 1990* (1990 年に) という、前にも触れた FH と親和性がある時間副詞と共に起しており、最後は 1990 年という

²⁰ https://next.liberation.fr/musique/2019/01/22/marcel-azzola-a-bout-de-soufflet_1704678

大きな成功が起こった時に跳躍し、物語的展開の結末を示している。

さらに「単純過去形」との共起の類例を見ておく。

(17) « Piano à frissons »

Ce ne sera pas la seule expérience de ce type, même s'il dut longtemps enregistrer des séances où il n'était pas question de prononcer le mot jazz. Marcel Azzola tissa ainsi des ponts entre deux univers où les malentendus n'avaient que trop duré. De Stéphane Grappelli à Christian Escoudé, de Swan Berger à Didier Lockwood, il fut toujours attaché au Paris qui swingue dru. Il n'en était pas moins élégant lorsqu'il s'agissait de ralentir le tempo, comme avec l'emblématique duo qu'il formait depuis des dizaines d'années avec Lina Bossati, la pianiste de son orchestre de bal qui deviendra sa fidèle complice sur scène et sa meilleure amie dans la vie. Sur le « *soufflet à chagrin* » que beaucoup désignent aussi comme le « *piano à frissons* », il pouvait ainsi faire siennes les *Gymnopédies* de Satie, non sans digression mais toujours avec délicatesse, pour paraphraser un de ses plus beaux thèmes. (liberation.fr, 22/01/2019) ²¹

「スリリングなピアノ」

このような経験は、たとえジャズという単語を口に出すなんてとんでもないセッションを長い間録音しなければならなかったとしても、それだけではない。マルセル・アゾーラは、このようにして誤解が長引きすぎていた2つの世界の橋渡しをした。ステファン・グラッペリからクリスチャン・エスクードまで、スワン・ベルガーからディディエ・ロックウッドまで、彼は激しく揺れるパリに常に執着していた。ステージでは忠実な協作者であり人生では親友となる社交界のオーケストラのピアニスト、リナ・ボッサーティと何十年にもわたって結成してきた象徴的なデュエットのように、テンポを遅くする必要がある時にも彼は劣らずエレガントだった。多くの人が「スリリングなピアノ」とも呼ぶ « *soufflet à chagrin* » で、彼はサティの *Gymnopédies* を自分のものにすることもできた。それは本筋から脱線せず常に繊細さがあり、彼の最も美しいテーマの一つを言い換えて説明した。

(17) のパラグラフのはじめの FH は、Ce ne sera pas la seule expérience... (それだけではない) とあるように話題転換が行われ、ne...pas la seule と共に強調されながらパラグラフのテーマとして機能している。一つの未来展開を提示し、つづく事行たちはこの未来の方向へ向けての叙述となっている。また、単純過去形と半過去形の言表連鎖のなかで qui 関係節内に FH が用いられているが、これはリナ・ボッサーティとの関係が今後どのようなになるのかという展開を先取りする未来が補足説明として挿入されている。

次に、「複合過去形」との共起の例を提示する。

²¹ https://next.liberation.fr/musique/2019/01/22/marcel-azzola-a-bout-de-soufflet_1704678

(18) Crash de Boeing

La société connaît des hauts et des bas économiquement, et surtout, plus tard, le 26 mai 1991, le crash d'un Boeing 767 lors d'un vol Bangkok-Vienne qui a entraîné la mort de 223 personnes. Un drame qui l'a particulièrement affecté. Lauda Air sera rachetée par Austrian Airlines en 2000. L'Autrichien créera une autre compagnie, Fly Niki, en 2003, revendue en 2011.

(liberation.fr; 23/07/2019) ²²

「ボーイングの墜落」

会社 [=ニキ・ラウダが設立したラウダ航空；本稿筆者註] は経済的に浮き沈みを経験し、特に後の 1991 年 5 月 26 日には、バンコクからウィーンへのフライト中にボーイング 767 型機が墜落し、223 名の死を引き起こした。この事件は、とりわけ会社にダメージを与えた。ラウダ航空は、2000 年にオーストリア航空によって買収されてしまう。このオーストリア人 [=ニキ・ラウダ；本稿筆者註] は、2003 年にニキ航空という別の会社を設立することになり、2011 年に売却した。

ここでは PH、複合過去形、FH が用いられているが、複合過去形基調の記事は全コーパスの中で確認されなかった。それは、現在 t_0 への影響をもたず、自らが物語るような性質を持つ単純過去形と異なり、語りで使用される複合過去形は、(i) 歴史的現在 t_0^1 を指示する歴史的現在形と共起し、 t_0^1 を基準点とするとともに、 t_0 に結果状態が残存していることを表すか、(ii) 書き手の現在 t_0 に基準点を置いたまま過去時の事態を叙述するためである。(18) 内の複合過去形は 2 つとも La société connaît (会社は経験する) という総括を PH を用いた基準時とし、その総括の中で相対的に過去に位置する事行を描写している。FH も同じ基準時に立脚し、相対的に後に起こる事行を示している。これら 3 つの時制は同じ歴史叙述的時間軸上に属しているため、物語展開を述べていくうえでの共起は自然なことと言える。1991 年の事行、2000 年の事行とつづいた後、段落のおわりの FH は時間副詞 en 2003 (2003 年に) を伴って、未来へ跳躍し展開を終えている。

最後に、「基準時の明示がない」例を見てみよう。

(19) « Yellow Moon »

Encouragés par ces succès, les Meters allaient s'essayer au rhythm'n'blues chanté à partir de *Struttin'*, en 1970, avant de glisser progressivement vers des formes plus pop et plus policées. Mais malgré des arrangements toujours plus touffus et ambitieux, le grand public allait décrocher. Déçu par les effets collatéraux du succès (pression, tensions, excès), Art Neville raviva sa flamme avec les Wild Tchoupitoulas, groupe de Mardi Gras Indians mené par son oncle, le Big Chief Jolly, alias George Landry. Publié en 1976, l'album homonyme du groupe serait aussi le premier à rassembler derrière le micro les quatre frères Neville. Comme une évidence, la fratrie allait profiter du retour

²² https://www.liberation.fr/sports/2019/05/21/formule-1-niki-lauda-l-ordinateur-s-eteint_1728521

en ville de Charles, saxophoniste en errance, pour se constituer en supergroupe pas la pire des idées, puisque le cadet, Aaron, avec sa voix en or, avait plusieurs hits à son actif depuis le début des années 60, à l'instar du magique *Tell It Like It Is*. Grâce à *Yellow Moon*, méga-hit produit par Daniel Lanois qui allait se vendre à un demi-million d'exemplaires, les frères Neville, Art en premier, devinrent plus que des gloires locales, des ambassadeurs de La Nouvelle-Orléans jusqu'à Vladivostok.

Toujours très occupé, notamment par les Funky Meters, Meters reformés pour le plaisir du jam et des tournées, Art Neville sera le seul de sa famille étendue à ne jamais quitter son berceau de Valence Street, même quand sa maison sera dévastée par l'ouragan Katrina et vidée de ses souvenirs par les pillages. Miné par l'âge et les maladies, cet insatiable du jam et de l'impro éludait toujours, même quand il avait du mal à tenir debout, les balades au profit des furies funk. Ainsi, à la veille d'un concert pour ses 75 ans, au Tipitina's de Tchoupitoulas Street, le vieil Art annonçait à un journaliste d'un quotidien local : « *On va essayer d'incendier tout ça, sans y mettre le feu pour de vrai.* »
(liberation.fr; 23/07/2019) ²³

「イエロームーン」

これらの成功に後押しされて、1970 年の *Struttin'* を皮切りに、The Meters は歌入りのリズム・アンド・ブルースに挑戦していくことになり、その後、徐々にポップでより洗練された形へ移行していった。しかし、どんどんより込み入って野心的なアレンジをしても、一般大衆は興味を失っていった。成功の副作用（プレッシャー、緊張、過剰）に失望したアート・ネヴィルは、叔父のジョージ・ランドリーことビッグ・チーフ・ジョリーに率いられているマルディグラ・インディアン・バンド The Wild Tchoupitoulas とともに再び情熱を燃やした。1976 年にリリースされたこのバンドの名を冠したアルバムは、ネヴィル 4 兄弟がマイクを握った初めての作品でもあろう。当然のように、兄弟は、放浪のサクソ奏者であるチャールズが町に戻ってきたことを利用して、スーパーグループを結成しようとしていた。最悪のアイデアではない。なぜなら最年少のアーロンはその黄金の声で、すばらしい *Tell It Like It Is* のように、60 年代初頭からヒット曲をいくつも出していたからだ。ダニエル・ラノワによりプロデュースされ 50 万枚が売られることになる大ヒット曲 *Yellow Moon* のおかげで、アートをはじめとしたネヴィル兄弟は、地元の栄光にとどまらず、ニューオーリンズの大使からウラジオストックの大使までになった。

特にジャムやツアーを楽しむために再結成された The Meters である The Funky Meters によっていつもとても忙しいアート・ネヴィルは、ハリケーン・カトリーナによって自宅

²³ https://next.liberation.fr/musique/2019/07/23/la-nouvelle-orleans-pleure-le-grand-frere-du-funk-art-neville_1741684

が大被害を受けることになり、略奪によって思い出の品々が空っぽされることになっても、大家族の中でただ一人、バレンシア通りの彼の出生地を決して離れない人物となる。年齢や病気に蝕まれた、この飽くことのないジャマーであり即興演奏家は、立ってられないほど痛かった時でさえも、ファンクの激しさのためにバラードをいつもうまく避けていた。そういうわけで、75歳の誕生日のためのコンサートの前日に、チャパトゥーラス通り（Tchoupitoulas Street）の Tipitina で、年老いたアートは地元の日刊紙のある記者に宣言した：「本当には火をつけずに、すべてを燃やしてみよう」と。

テキスト全体は過去形基調だが、記載した部分以外の記事全体を確認しても、FHの基準時となるPHの痕跡が現れていない。かろうじて第二段落はじめの *Meters reformés...* の分詞で語られている再結成という事行が語りの現在形を暗示しているだけである。このように、訃報記事では基準時の明示がない場合も存在することが確認された。これは、長く詳細に綴っていく歴史テキストとは異なり、一般的に数ページの長さに簡潔にまとめるという訃報記事というジャンルの性質によるものだと考える。またこの例でも FH が複数連続して生起しており、すべてハリケーンに関連することが述べられている。これは（14）と同様に先取りした未来の事行群で一つの世界を構成し、語りのスピードを上げて *flash forward* 効果をひきおこしていると思われる。

以上の分析により、時間副詞や補足説明を意味する記号文字や関係節との親和性、用いられる位置による展開の終着点やテーマとしての機能など、歴史テキストと同様の結果が観察された。また、FHは理論上では歴史叙述的時間軸のPHに必ず立脚することで使用可能となるが、その基準時は必ずしも周辺にはない、または明示されていない場合もあることが明らかになった。

6. おわりに

以上、本稿では、これまであまり研究されることのなかった訃報記事に見られる単純未来形の歴史的未來用法について、代表的な事例に即して検討してきた。その結果、実際に起きた事実を客観的に述べるという点で類似する歴史テキストと訃報記事は、その生起によるテキスト的機能において共通の特徴を有することが観察された。生起する位置による事行群のしめくりや補足説明、パラグラフのテーマとして作用する効果等が見られたが、これらはわれわれのいる現実時間とは異なる虚構的な時間軸上で歴史的現在を基準時として導入することで未来形の使用が可能となり、それによりもたらされた時間的跳躍を伴う先取りの副次的な機能である。この機能ゆえに過去に関する叙述に歴史的現在、歴史的未來が用いられるという逆説的な考えもあるが、少なくとも訃報記事の場合はむしろ歴史的現在の使用に重点が置かれている。

訃報記事に特徴的な点として、コーパス内の各パラグラフごとに観察すると歴史的現在基調が約半数を占める。²⁴ このように現在形が用いられやすい理由に関する理論的側面からの分析では、

²⁴ パラグラフの基調時制と未来表現の基準時となる時制は必ずしも一致しない。パラグラフの基調時制はすべて画一的に決められるものではなく、内容・生起数を考慮した恣意的な部分もあることを注記しておく。また、歴史的未來の生起がない記事では現在形の生起もほぼ確認されなかった。

歴史テキストと比較すると書き手や読み手が存在する現実時間の過去時 t_1 との時間的乖離が短く、さらにその t_1 に相当する位置に構築される「現在形」を用いた虚構的な時間軸上の基準時 t_0 へ読み手の意識を移行することにより、いっそう心的距離も近くなるという意図が挙げられた。そのうえで、時間的跳躍を伴う先取りを、使用位置によってテキスト内で効果的に使用していることが明らかとなった。

未来に関する他の表現方法としては迂言的未来形や条件法等があり、訃報記事におけるこれらの動詞時制と歴史的未來との差異に関する分析は不可欠である。また他社の訃報記事との比較、他言語の記事との比較などさらなる研究の余地は大いにあるが、それらはまた別の機会に論じることにはしたい。

参考文献

- BENVENISTE, Émile. (1966) : *Problèmes de linguistique générale I*, Paris, Gallimard.
- CONFAIS, Jean-Paul (1990, 1995²) : *Temps, mode, aspect : les approches des morphèmes verbaux et leurs problèmes à l'exemple du français et de l'allemand*, Toulouse, Presses Universitaires du Mirail.
- GREVISSE, Maurice (1980) : *Le bon usage : grammaire française, avec des remarques sur la langue française d'aujourd'hui*, 11^e éd., rev, Gembloux, Duculot.
- MARTIN, Robert. (1983) : *Pour une logique du sens*, Paris, Presses Universitaires de France.
- 小川紋奈 (2013) : 「フランス語の単純未来形に関する一考察—*Le Petit Prince* における用例の分析から—」『筑波大学フランス語・フランス文学論集』28 : 63-90.
- 小川紋奈 (2016) : 「歴史テキストにおけるフランス語の単純未来形の機能に関する研究 — *La Proclamation de la Commune* をコーパスとして—」『筑波大学フランス語・フランス文学論集』31 : 25-79.
- 小川紋奈 (2017) : 「歴史テキストにおけるフランス語の単純未来形—迂言的未来形 *allait + infinitif* との比較—」『筑波大学フランス語・フランス文学論集』32 : 10-25.
- 小川紋奈 (2018) : 「歴史テキストにおけるフランス語の単純未来形—条件法との比較—」『ロマンス語学研究』51 : 85-94.
- 小川紋奈 (2022) : 『フランス語の動詞未来時制における歴史的未來の研究』博士論文, 筑波大学人文社会科学部研究科.
- 宮脇玲奈 (2020) : 「テキスト構造の観点からみる大過去形についての一考察」『フランス語学研究』54 : 45-66.
- 渡邊淳也 (2014) : 『フランス語の時制とモダリティ』東京, 早美出版社.

文例出典

- LEFEBVRE, Henri. (1965) : *La Proclamation de la Commune, 26 mars 1871*, (Trente journées qui ont fait la France, 26), Paris, Gallimard.
- アンリ・ルフェーヴル (著)・河野健二 [ほか] (訳) (2011) : 『パリ・コムニオン』(上)(下), 東京, 岩波書店.

訃報記事

以下には、コーパス調査の範囲である、*Libération* 紙の訃報欄 (DISPARITION) の 2019 年 1 月 1 日から同年 9 月 30 日までの資料を記載する。(2021 年 4 月 12 日最終閲覧)

- 1) BLANDINE VERLET REJOINT COUPERIN ET BACH
https://www.liberation.fr/culture/2019/01/01/blandine-verlet-rejoint-couperin-et-bach_1700552/
- 2) JOSEPH JARMAN, MORT D'UN GUERRIER POÈTE DU JAZZ
https://next.liberation.fr/culture/2019/01/11/joseph-jarman-mort-d-un-guerrier-poete-du-jazz_1702322
- 3) JEAN-MANUEL ESCARNOT, « LIBE » PIED AU PLANCHER
https://www.liberation.fr/france/2019/01/13/jean-manuel-escarnot-libe-pied-au-plancher_1702729/
- 4) EMILIANO SALA, MERVEILLE ARGENTINE D'UN FOOT MONDIALISE
https://www.liberation.fr/sports/2019/01/22/emiliano-sala-merveille-argentine-d-un-foot-mondialise_1704623/
- 5) MARCEL AZZOLA, À BOUT DE SOUFFLET
https://next.liberation.fr/musique/2019/01/22/marcel-azzola-a-bout-de-soufflet_1704678
- 6) JONAS MEKAS, « L'ŒIL-CAMÉRA » SE FERME
https://next.liberation.fr/cinema/2019/01/24/jonas-mekas-l-oeil-camera-se-ferme_1705006
- 7) MORT D'ERIC HOLDER, ÉCRIVAIN BOULEVERSANT
https://next.liberation.fr/livres/2019/01/27/mort-d-eric-holder-ecrivain-bouleversant_1705671
- 8) HENRY CHAPIER, ANIMATEUR DU LEGENDAIRE « DIVAN », EST MORT
https://www.liberation.fr/france/2019/01/27/henry-chapier-animateur-du-legendaire-divan-est-mort_1705727/
- 9) EMMANUEL HOCQUARD, LES MOTS BLANCS
https://next.liberation.fr/livres/2019/01/28/emmanuel-hocquard-les-mots-blancs_1705973
- 10) DICK MILLER QUITTE LES PLATEAUX
https://next.liberation.fr/culture/2019/01/31/dick-miller-quitte-les-plateaux_1706589
- 11) TOMI UNGERER, BRIGAND DE GRANDS DESSINS
https://next.liberation.fr/livres/2019/02/10/tomi-ungerer-brigand-de-grands-dessins_1708593
- 12) MORT DE MAG BODARD, UNE HÉROÏNE TRÈS DISCRÈTE
https://next.liberation.fr/cinema/2019/02/28/mort-de-mag-bodard-une-heroine-tres-discrete_1712228
- 13) KEITH FLINT, LA TÊTE DANSANTE DE PRODIGY, EST MORT
https://next.liberation.fr/musique/2019/03/04/keith-flint-la-tete-dansante-de-prodigy-est-mort_1712964
- 14) DECES DE PIERRE DE SAINTIGNON, FIGURE POLITIQUE DE LILLE ET FIDELE DE MARTINE AUBRY
https://www.liberation.fr/france/2019/03/09/decès-de-pierre-de-saintignon-figure-politique-de-lille-et-fidele-de-martine-aubry_1714042/
- 15) PIERRE CHEVALIER, MORT D'UN GÉANT DISCRET DU CINÉMA
https://next.liberation.fr/cinema/2019/03/11/pierre-chevalier-mort-d-un-geant-discret-du-cinema_1714396
- 16) CAROLEE SCHNEEMANN QUITTE LES MARGES
https://next.liberation.fr/arts/2019/03/11/carolee-schneemann-quitte-les-marges_1714392
- 17) AGNÈS VARDA, GRANDE À PART
https://next.liberation.fr/cinema/2019/03/29/agnes-varda-grande-a-part_1718323

- 18) SEYMOUR CASSEL, LA VIE EN RÔLES LIBRES
https://next.liberation.fr/cinema/2019/04/09/seymour-cassel-la-vie-en-roles-libres_1720366
- 19) AVEC LA MORT DE KAZUO KOIKE, LA BD MONDIALE PERD UN DE SES ARCHITECTES
https://www.liberation.fr/culture/2019/04/19/avec-la-mort-de-kazuo-koike-la-bd-mondiale-perd-un-de-ses-architectes_1722355/
- 20) DICK RIVERS, L'ELVIS DE NICE
https://next.liberation.fr/musique/2019/04/24/dick-rivers-l-elvis-de-nice_1723178
- 21) MORT D'ARNAUD DUBUS, ANCIEN JOURNALISTE DE « LIBE » A BANGKOK
https://www.liberation.fr/planete/2019/04/29/mort-d-arnaud-dubus-ancien-journaliste-de-libe-a-bangkok_1724098
- 22) MORT DE JOHN SINGLETON, PIONNIER ENGAGÉ DU CINÉMA AFRO-AMÉRICAIN
https://next.liberation.fr/cinema/2019/05/01/mort-de-john-singleton-pionnier-engage-du-cinema-afro-americaain_1724293
- 23) BRISSEAU PÉRILLEUX
https://next.liberation.fr/cinema/2019/05/12/brisseau-perilleux_1726562
- 24) MORT DE DORIS DAY, ACTRICE PAS SI LISSE
https://next.liberation.fr/cinema/2019/05/13/mort-de-doris-day-actrice-pas-si-lisse_1726759
- 25) MORT DE MACHIKO KYO, ACTRICE INOUBLIABLE CHEZ MIZOGUCHI, OZU ET KUROSAWA
https://next.liberation.fr/cinema/2019/05/14/mort-de-machiko-kyo-actrice-inoubliable-chez-mizoguchi-ozu-et-kurosawa_1726898
- 26) FORMULE 1 : NIKI LAUDA, « L'ORDINATEUR » S'ETEINT
https://www.liberation.fr/sports/2019/05/21/formule-1-niki-lauda-l-ordinateur-s-eteint_1728521
- 27) FRANCO ZEFFIRELLI, PRISES EN SURCHARGE
https://www.liberation.fr/cinema/2019/06/16/franco-zeffirelli-prises-en-surcharge_1734108/
- 28) SUZAN PITT, DESTIN ANIME
https://www.liberation.fr/cinema/2019/06/18/suzan-pitt-destin-anime_1734490/
- 29) MORT DU PHILOSOPHE ET POÈTE JEAN-LOUIS CHRETIEN
https://www.liberation.fr/debats/2019/07/02/mort-du-philosophe-et-poete-jean-louis-chretien_1737588
- 30) MORT DE JOÃO GILBERTO: SAMBA TRISTE
https://next.liberation.fr/musique/2019/07/07/mort-de-joao-gilberto-samba-triste_1738631
- 31) MORT DE JOHNNY CLEGG : L'AFRIQUE DU SUD PLEURE « UNE ICONE »
https://www.liberation.fr/planete/2019/07/17/mort-de-johnny-clegg-l-afrique-du-sud-pleure-une-icone_1740592/
- 32) LA NOUVELLE-ORLÉANS PLEURE LE GRAND FRÈRE DU FUNK, ART NEVILLE
https://next.liberation.fr/musique/2019/07/23/la-nouvelle-orleans-pleure-le-grand-frere-du-funk-art-neville_1741684
- 33) MORT DE CHRISTIANE MENASSEYRE, BELLE ÂME PHILOSOPHIQUE
https://www.liberation.fr/livres/2019/08/02/mort-de-christiane-menasseyre-belle-ame-philosophique_1743397/
- 34) JEAN-CLAUDE BOUTTIER, LA VOIE DES POINGS
https://www.liberation.fr/sports/2019/08/04/jean-claude-bouttier-la-voie-des-poings_1743649
- 35) CYCLISME : MORT DU PRODIGE BELGE BJORG LAMBRECHT A 22 ANS
https://www.liberation.fr/sports/2019/08/06/cyclisme-mort-du-prodige-belge-bjorg-lambrecht-a-22-ans_1743943/

36) MORT DE DAVID BERMAN, LE FONDATEUR DE SILVER JEWES

https://www.liberation.fr/musique/2019/08/08/mort-de-david-berman-le-fondateur-de-silver-jews_1744386/

37) MORT DE DAVID BERMAN, FONDATEUR DE SILVER JEWES

https://www.liberation.fr/musique/2019/08/08/mort-de-david-berman-fondateur-de-silver-jews_1744465/

38) ENTRE 200 ET 300 PERSONNES RENDENT HOMMAGE A STEVE LORS D'UNE MARCHE BLANCHE A NANTES

https://www.liberation.fr/france/2019/08/10/entre-200-et-300-personnes-rendent-hommage-a-steve-lors-d-une-marche-blanche-a-nantes_1744737/

39) MORT D'UN BIKER NOMMÉ FONDA

https://next.liberation.fr/cinema/2019/08/18/mort-d-un-biker-nomme-fonda_1745910

40) RICHARD WILLIAMS, CRÉATEUR DE ROGER RABBIT, POSE UN LAPIN

https://next.liberation.fr/cinema/2019/08/18/richard-williams-createur-de-roger-rabbit-pose-un-lapin_1745911

41) PETER LINDBERGH, REGARD SANS FARD

https://next.liberation.fr/arts/2019/09/04/peter-lindbergh-regard-sans-fard_1749314

42) AFRIQUE DU SUD : L'EX-CHAMPION DU MONDE DE RUGBY CHESTER WILLIAMS EST DECÉDÉ

https://www.liberation.fr/sports/2019/09/06/afrique-du-sud-l-ex-champion-du-monde-de-rugby-chester-williams-est-decede_1749771/

43) ZIMBABWE : LA DERNIERE MORT DE ROBERT MUGABE

https://www.liberation.fr/planete/2019/09/06/zimbabwe-la-derniere-mort-de-robert-mugabe_1749788

44) ROBERT FRANK, L'AMÉRIQUE EN NÉGATIF

https://next.liberation.fr/images/2019/09/10/robert-frank-l-amerique-en-negatif_1750555

45) MORT DE DANIEL JOHNSTON, GEANT FRAGILE DU ROCK INDEPENDANT

https://www.liberation.fr/musique/2019/09/11/mort-de-daniel-johnston-geant-fragile-du-rock-independant_1750795/

46) EN HONGRIE, LASZLO RAJK LIBRE POUR TOUJOURS

https://www.liberation.fr/planete/2019/09/13/en-hongrie-laszlo-rajk-libre-pour-toujours_1750925/

(おがわ あやな / 筑波大学大学院博士課程修了)